

酒飯論絵巻

酒好きの男と下戸でご飯好きの男 両方適度に嗜む男の3人、調理から配膳、飲食の様子が詳細に描かれ、その豊かな食の風景、当時の食文化を知る。

①三人の紹介、②酒の徳、③飯やおかず、茶の面白さ、④どちらもほどほどがよいと語られる。

文化庁本 酒飯論絵巻 部分

小金城・根木内城の出土資料

城のもっとも重要な役割が、戦争を有利に進める**軍事機能**にあるのは当然です。ところがこがねりょう小金領※しもうさのくにゆうすう支配の中心地で下総国有数の大城郭こがねじょう小金城や、それに次ぐ規模を持つねぎうちじょう根木内城は、軍事一辺倒ではなく、城主と家族らが暮らす**生活空間**でもありました。地中から発見された土器や陶磁器から、当時の食生活の一端が想像できます。

